

安心で住みよい町に！

議会だより

No. 71

2015. 4. 30発行

カウリン

県下初！特別委員会

町民総力で「勝浦創生」

新モニター決まる

急げ交通弱者対策など（一般質問）

でけとんで～追跡レポート

2

4

6

7

16

「地方創生」に向けて

特別委員会を設置



ひな会議

「ひな会議」は3月3日～20日まで開かれ、26年度補正予算では、「地方創生」へ早期に取り組むため、プレミアム商品券や子育て支援などの事業が提案された。

「地方創生」に向けて、今後5年間の総合戦略が策定されるが、議会としても提言が必要なことから、「地方創生特別委員会」の設置を提案し、審議の結果、議案は全て可決された。

また、27年度当初予算も提案され、事業としてはケーブルテレビ設備の更新や賃貸住宅建設補助などがある。

当初予算 **一部修正**

役場庁舎の耐震工事などの財源に、「自ら考え、自ら実践する地域づくり基金」を充当するのは適切でないとの質疑があり、「財政調整基金」に修正された。



有害鳥獣駆除費
倍増



若者定住対策 賃貸
住宅建設補助



役場、福祉センター
耐震、改修工事



ケーブルテレビ
設備更新

27年度 主な事業

特別会計予算

国民健康保険	8億6099万円
介護保険	8億3043万円
勝浦病院	6億6339万円
後期高齢者医療	8056万円
簡易水道	1億6260万円
農業集落排水事業	6075万円
物産販売(道の駅)	1976万円
住宅新築資金等貸付	68万円

特別会計とは

一般会計とは別に、それぞれの目的を持って事業を行う会計である。

議案に対する質疑

国清議員 予算案では、役場庁舎と福祉センターの耐震改修に「自ら考え、自ら実践する地域づくり基金」を充当するようになっているが、目的から外れていないか。

中田町長 議員の指摘により、一般財源で対応し、基金については地方創生事業に活用する。

美馬議員 奨学金の返済方法と返済率はどうなっているのか。
また、資格取得のためにも適用できないか。

久木教育委員会事務局長 大学卒業後、8月と2月に返済されることになっており、返済率は100%である。

椎野教育長 資格取得のための奨学金は、別枠で検討する必要がある。

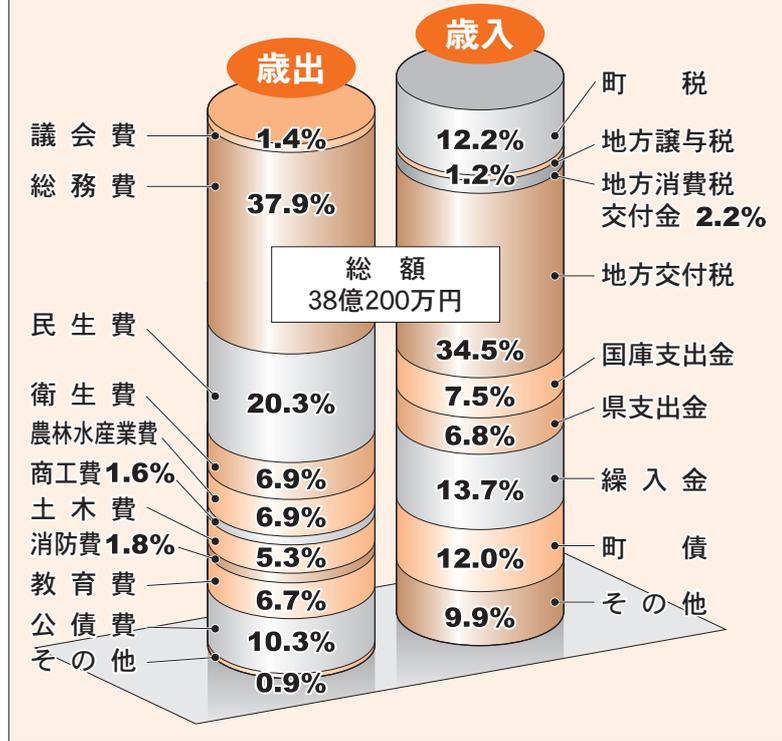
自由討議

国清議員 毎年、特別職の給与カットが提案されるが、選挙公約の町長は別にして、副町長と教育長のカットは必要ないのでは。

美馬議員 予算書は主要な施策の説明を付けて、もっと事前に提出してもらえれば、効率的な審議ができる。

節議員 予算の中にはまだまだ査定の甘い部分がある。もっと精査し、財源を捻出してワクワクするような予算にすべきである。

一般会計当初予算の歳入・歳出構成比



新しい制度
出産祝い金

地域限定商品券

県内共通
商品券

プレミアム(20%)商品券
発行 県・町

町民体育祭 復活

「手話言語法」
制定を求める意見書
提出者 井出議員
全議員の賛成により可決

子育て支援の充実
5歳児保育料無料に

「町が消える」

町民総力で「勝浦創生」を



全国ひなサミット開催 (28年3月)

全国各地で「地方創生」議論が沸き返っている。

今、なぜなのか。それは、昨年5月に「日本創生会議」が発表したレポート「自治体消滅の危機」にある。それによると2040年までに、約1900ある市町村の半数が消滅する可能性があり、勝浦町もその中に入っている。

もちろん町が消えてなくなるのではないが、このまま少子高齢化と人口減少が続くと、高齢者を支える若者が町にいなくなり、公共サービスができなくなる危機感があるからである。

この危機的課題に、町、議会、町民一丸となって取り組まなければ、輝く未来はない。

先行予算！

4800万円

国は「まち・ひと・しごと長期ビジョン」として総合戦略5カ年（27年度から31年度）を打ち出した。そして、地方における「地

方創生」を積極的に支援するため、先行的に26年度の補正予算で自由度の高い交付金を創設し、勝浦町には4800万円が交付された。

主な事業

- ・プレミア商品券の発行
- ・みかんブランド化推進
- ・移住・定住対策
- ・交流活性化事業
- ・（全国ひなサミットなど）子育て支援対策事業

町の動き

「総合戦略策定会議」

町は、「勝浦町地方創生総合戦略策定会議（委員25名）」を立ち上げた。

今後も広く町民の声を聞き、協議を重ね、11月ごろに総合戦略を策定する。

県下に先駆け

特別委員会を設置

3月の「ひな会議」では、議案審議から一般質問まで「地方創生」の議論が続いた。



議論白熱！特別委員会

議会においても町が消滅する危機感から、新たなまちづくりをめざす総合戦略に参画するため、議員一丸となって県下に先駆け「地方創生特別委員会」を立ち上げ、3月30日と4月15日に委員会を開いた。

「町の声キャッチボール」を最大限に活用し、広く町民の声を聞き、町執行部へ提案していきたい。

1月会議

1月20日開会し、補正予算などを審議した。

大幅な赤字

介護保険特別会計補正予算

1億1324万円
一般会計から約5800万円を繰り入れ

質疑

川端議員

問 大幅な赤字になったのは、保険料算定時の見通しが甘かったのか。

また、来年度改定時の個人負担額の考えは。

答 大西福祉課長

当初予想よりも高齢者が増えたことや消費増税などの影響があった。

答 中田町長

改定時には、他町村の動向も参考にして決めていきたい。

井出議員

問 他町村の状況はどのようになっているのか。

答 大西福祉課長

個別には公表されていないが、基金を取り崩すのが近隣6市町村のうち4市町村あるので、同様の状況と推測される。

町民の声に対する質問

国清議員

命を守る

「防災士」の養成を

30人の受講者募集(伊丹参事)

問 大災害から命を守り、地域を助ける自助・共助が叫ばれている。

防災・減災の知識を身に付ける「防災士」を養成してはどうか。

答 伊丹参事

27年度から防災・減災のレベルアップをめざして県が毎年実施している「防災士養成講座」に参加したい。受講者は各地区の区長や自主防災組織の推せんで、30人を予定している。



将来の防災士！

2月会議

2月17日に開会し、請負工事金額の変更を審議した。

内容

川北簡易水道配水池工事
約422万円
川北簡易水道水道管工事
約302万円

それぞれ工事内容の変更および追加によるもの。

町民の声に対する質問

節議員

「坂本家」の 運営状況は

問 昨年12月にオープンした「坂本家」の改修費用額と借り入れ期間は。

答 野上産業交流課長

改修費は約580万円、5年間の借用となっているが、状況により10年までの延長は



お待ちしております(坂本家)

問 移住希望者に対する空き家の紹介は。

答 野上産業交流課長

町内の利用可能な空き家調査を、27年度に実施したい。

議員が町の執行部に対して、様々な角度から町政について質問すること

町の課題に切り込む!

質問議員	質問事項	ページ
山野 忠男	1、役場庁舎の太陽光発電、災害時の活用は 2、地方創生の施策は 3、「ホテル歩道橋」安全調査の結果は	7
河野 道雄	1、どう守る子供の命 2、避難所に移動風呂を 3、間伐事業の推進を	8
節 公一	1、介護保険料5800円に(基準月額)、財政状態に余裕は 2、子育て支援の充実を 3、阿南方面への通学手段を	9
森本 守	1、みかんのフランス輸出、町のかかわりは 2、消費増税で住民生活は 3、安全な道路に 4、防災訓練の課題は	10
美馬 友子	1、いつ終わるのか、簡易水道の指定管理 2、魅力のあるものに、町のホームページ 3、町のにぎわい、合同交流イベントに 4、勝浦病院の充実を	11
国清 一治	1、なぜ遅れる、県道新浜勝浦線改良工事 2、「早うせなあかん」、消防の常備化 3、一向に進まない、交通弱者対策 4、全国に発信、町制60周年事業	12
井出美智子	1、TPPや農協改革から農業を守れ 2、原料みかんの販売工夫を 3、鳥獣被害対策、9割補助の取り組みを 4、危険なところに、防犯灯の新設を 5、巡回タクシー試験運行を 6、国保税の引き値下げを	13
川端 雅夫	1、県道徳島上那賀線、「長柱工区」の改良は 2、町税、住宅家賃の徴収体制は 3、地方創生にプロジェクトチームを 4、若者定住対策、住宅新築に補助金を	14

アンケートありがとう

議会広報モニター

- 議員が一丸となって役場を動かして欲しい
- 質問の答えは「検討する」のではなく、できないものではないと言うべきでは
- どう検討するのかとまで聞くべき
- ワクワクした答弁を聞き出して!
- 言葉を濁すのでおもしろくない
- 興味があることは傍聴で聞いてみたいので、早く議会日程の情報が欲しい
- 決まったことや、今どのように進んでいるのか知りたい

- ボランティアに参加したいので連絡先を載せてほしい
- 議会をフェイスブックで発信してほしい



新しいモニター決まる (敬称略順不同)

小山 美江子 (星谷)
栗城 久美子 (中山)
畠田 光男 (坂本)

三木 晃代 (横瀬)
白草 千鶴 (生名)
米川 恭平 (棚野)

山畑 富志廣 (今山)
北山 靖 (石原)
森本 奈美 (中角)
武田 博之 (与川内)

山野忠男議員



役場庁舎の太陽光発電

災害時の活用は

非常用電源とする (参事)

問 役場の耐震改修時に設置する10キロワットの太陽光発電で、暖房やクーラーの電源を満たせるのか。また、15キロワットの蓄電池では、何日間稼働できるのか。

答 伊丹参事

今回の太陽光発電は蓄電用で、災害時に停電した場合の非常用電源として設置する。3日間使用できる。

地方創生の施策は

問 「まち・ひと・しごと・創生法案」が26年9月に閣議決定されたが、町はどのような施策で対応するのか。

答 伊丹参事

27年度に「総合戦略策定委員会」を設置し、今後取り組む事業を協議する。経済対策として、商品券発行などの支援策を実施する。

問 「ひと」とは、地域社会を担う多様な人材の確保であるが、農業分野の人づくりはどのように進めるのか。

答 野上産業交流課長

24年度から「青年新規就農交付金制度」を利用して、現在3名が助成を受けている。27年度は新たに4名増に取り組み。

問 「しごと」とは、結婚・出産・育児について、希

望が持てる社会が形成されるよう、環境の整備が必要とあるが、どのような施策か。

答 大西福祉課長

今年3月3日以降の出生児から、第1子に3万円、第2子に5万円、第3子に10万円の出産祝金制度を設けた。

不妊治療を助成する事業や妊産婦、母子検診等を実施しており、27年度から1



がんばる青年新規就農者

歳児から3歳児までを対象に、言語聴覚士による診断を開始する。

「ホタル歩道橋」

安全調査の結果は

問 与川内ホタル祭りは、3日間で延べ3万人の観客が来る。地元の住民は、歩道橋が落下しないかと心配しているが、安全調査の結果は。

答 柳沢建設課長

昨年11月に張り出し歩道橋を点検した結果、ホタル祭りで大勢が通行しても問題ない。

問 歩道橋の天板ブロックを支えている鉄柱がサビているが、対策は。

答 柳沢建設課長

サビの腐蝕は、21年度の点検より進んでいるが、安全性に問題はない。近い将来、国、県の補助で修理したい。



河野道雄議員

どう守る子供の命

情報の共有化を（教育長）

問 最近子供の命を奪う事件が、たびたび起きている。川崎市の「中学生殺人遺棄事件」は、極めて悲惨である。教育長の考えは。

答 椎野教育長

痛ましい事件を受け、町では緊急の校長会を開催した。

児童、生徒との信頼関係の強化や、より注意深い見守りなどによって、子供のSOSを適切に把握する体制づくりを再度確認した。

問 子供の命を守るためには、地域の人との情報共有は不可欠であると考えますが。

答 椎野教育長

学校と家庭は定期的な情報交換を行っている。

小学校では登下校の見守り、中学校では地域ぐるみの支援団体がある。子供の安全を守るために積極的に活動しており、そのリーダーとは定期的な連絡協議会を行っている。

学校と教育委員会、警察も含めた情報の共有化は不

可欠である。

避難所に移動風呂を

問 地震や豪雨による大災害が起きれば、多くの人が避難生活となることが予想される。避難所に移動式の風呂を設置できないか。

答 伊丹参事

管理の問題や費用など考えると、レンタルなどで対応したい。

また、集会所に風呂を作るなど考えていきたい。

間伐事業の推進を

問 森林荒廃が進んでいるが、間伐の現状は。

答 野上産業交流課長

25年度の森林環境保全直接事業で約24ヘクタール。環境林整備事業で11ヘクタール実施している。

問 有利な補助金事業で間伐を推進しては。

答 野上産業交流課長

面積要件で1回あたり、5ヘクタール以上必要であるため困難である。

答 中田町長

搬出経費が多くかかり、森林の形状や搬出経路など検討が必要。

問 林道新設の予定はないのか。

答 柳沢建設課長

林道開設には、用地や立木は無償提供で、切り捨て残土の置き場確保が必要である。地元関係者の協力は欠かせないので、今のところ予定はない。



がんばるプロセッサ（高性能林業機械）



介護保険料5800円に(基準月額)

財政状態に余裕は

給付費が賄える水準 (福祉課長)

問 26年度の介護保険特別会計は、基金も底をつき大幅な赤字となり、一般会計から約5800万円が繰り出された。
27年度から、基準月額が5100円から5800円に引き上げられるが、財政状態に余裕はできるのか。

答 大西福祉課長
今回の引き上げでは、今後3カ年の給付費が賄える水準であり、あまり余裕はない。

問 新しい保険料は、県内でどのくらいの水準になるのか。

答 大西福祉課長
県内では、5800円以上が10町村あり、高い順から3番目である。

問 町長が保険料をこの金額に決めた判断は。

答 中田町長
「第6期介護事業計画」に基づき、給付と負担のバランスを見据えて決定した。

子育て支援の充実を

問 「子ども・子育て会議」で、子育てを総合的に推進する事業計画が策定されたが、27年度に実施される事業は。

答 大西福祉課長
新たな事業として、出産祝い金や、5歳児の保育料無料化などがあり、学童保

育の指導員の研修費も増額している。

問 ひとり親家庭への支援充実が必要では。

答 大西福祉課長
27年度に、「生活弱者地域商品券交付事業」で、1万円の商品券を配布する。その中に母子、父子世帯も含まれる。



みんなで宿題 学童保育 (たけのこクラブ)

阿南方面への通学手段を

問 昨年8月に「勝浦町の高校生の通学を考える会」から、400名余りの署名を添えて、阿南方面への通学バスを運行してほしいとの陳情書が出された。陳情を受けた町長の思いと対策は。

答 中田町長
阿南方面への通学バスは、今までも議会で再三審議されてきた。保護者の負担や交通安全などの問題は認識しており、徳島バスとの路線開設も協議してきたが厳しい状況である。

問 通学手段がなく、若い世帯が町外へ転出することがある。若者定住対策としても取り組むべきでないか。

答 中田町長
進学のために町外へ転出されるのは、残念な思いがある。今後、地方創生総合戦略の中でも議論していきたい。

みかんのフランス輸出

町のかかわりは

十分連携をとり対応（町長）

森本 守議員



問 町内産のみかんがフランスに輸出される直前、残留農薬で中止された。フランスと日本の農薬基準の違いは。

答 福田副町長
地域や気候などによって病害虫の種類が違ふ。検査方法は日本は果肉だけ、EUは皮も含めた全ての検査をするので基準が厳しい。

問 町はどのようにかかわっていたのか。

答 野上産業交流課長
県から輸出の日程などについては聞いていたが、2月の輸出まで、町に事業参加の要請はなかった。

答 中田町長

2月21日、町にEU向け柑橘産地のサポート会議への参画要請があり、協議を始めた。

輸出中止は残念な思いであり、今後は十分連携をとり、新たな販路拡大と勝浦みかんのPRにつなげ、引き続き輸出の取り組みを継続する。

消費増税で

住民生活は

問 町内の小売店や事業者は、消費増税分を価格転化できず、採算が合わないの「店をやめたい」との声が多い。どう対応するのか。

答 伊丹参事
県、町併せて890万円のプレミアム商品券を発行し、生活弱者対策として1万円の商品券を513万円分配布して対応する。

問 商店が減少し買い物難民が出ている。移動販売店の研究をしてはどうか。

答 中田町長

地方創生の総合戦略の中で議論し取り上げていく。

安全な道路に

問 専門学校への道路の停止線は、調査中との答弁であったが、その後どうなったのか。

答 伊丹参事
停止線は安全性の

確保になるが、通行に規制をかけると利用者は不便になる。慎重に判断したい。

問 県道新浜勝浦線「中山工区」の予定はどうなっているのか。

答 福田副町長
「中山工区」の全線開通は、用地確保の見通しが立たないので、100m区間の修正設計を行い、現在40mを施工中で、残り60mは27年度に整備する。

防災訓練の課題は

問 専門学校での防災訓練の課題は。

答 伊丹参事
関係者の協力で、多数の参加があり、防災意識の向上につながった。今後の課題は、このような取り組みを、各地区で積極的に行うことが大切であり、地域の実情に応じた訓練を呼び掛けていきたい。



たくさん参加、防災訓練（専門学校）

いつ終わるのか

簡易水道の指定管理

3年後を目標に（建設課長）



美馬友子議員



点検も大変だ！（棚野水源地）

問 簡易水道は指定管理になつてはいるが、町の管理に移る時期は。また、水道料金の統一の時期はいつか。

答 柳沢建設課長
それぞれの組合の運営方法には違いがあるが、町管理は3年後ぐらいを目標としたい。
水道料金の統一は指定管理を終えた時点とする。

問 水道普及率と、クリアしなければならぬ課題は何か。

答 柳沢建設課長
町の普及率は81%である。財政確保のため、水道料金上げの承認が必要である。

問 町営化に向けて、簡易水道準備室などが必要ではないか。また、今後の対策は何か。

答 中田町長
永続的な事業経営は重要であり、人員配置も含め効率的な組織運営に取り組む。

答 柳沢建設課長
施設の老朽化による改良費と維持管理費の確保が必要。町の管理体制の整備や安全・安心な水源確保である。

魅力のあるものに

町のホームページ

問 勝浦で若者が住みたくなる、魅力のある事業や各種助成金など、視覚に効果的な町のホームページで情報発信をすべきでは。

答 福田副町長
移住、交流の定住サイトを現在作成中であり、ホームページでアップできる予定。情報発信のツールとして大いに活用できるように改善したい。

町のにぎわい

合同交流イベントに

問 「勝浦町芸能大会」がビックひな祭り中に行われたが、ひな祭り会場で合同開催すれば、更になににぎわいことになるのか。また、「健康福祉まつり」も工夫が必要ではないか。

答 椎野教育長
相乗効果が見込まれるが、

勝浦町文化協会が主催しており、ひな祭り実行委員会と協議の場を持ちたい。

答 大西福祉課長
健康福祉まつり実行委員会で工夫し、行政も一層取り組みを強化していく。

勝浦病院の充実を

問 地域包括ケアシステムの基盤づくりは、医療の強化であり、在宅支援のための訪問看護の考えは。

答 岡本病院事務局長
訪問看護は重要であるが、現時点では、医師や看護師不足で対応できない。

問 町民に安心して治療を受けてもらうには、療養環境の整備が必要では。

答 中田町長
病院の健全な経営に向けて分析を行い、職場の環境や待遇改善に取り組む。

なぜ遅れる

県道新浜勝浦線改良工事

「中山工区」完了！
「星谷工区」に着手（町長）

国清一 治議員



問 県道新浜勝浦線の改良工事は、26年度に「中山工区」完了。27年度の早い時期に「星谷工区」着手と言いますが、かなり遅れている。どうなっているのか。

答 中田町長
県に再三足を運び、直談判もしてきた。

「中山工区」は27年度に1500万円の予算がついているので、早期の完成をめざしたい。

「星谷工区」が遅れているが、県は27年度の事業化



一部が完成「中山工区」

に向けた現地調査などに着手する。

「早うせなあかん」

消防の常備化

問 消防常備化が言われ始めて20数年になるが、今だに検討中で筋道もたっていない。南海トラフ大地震の発生率が高まるなか、現組織だけで「命が守れるのか」と、不安の声も聞かれる。もはや視察や検討の段階ではない。常備化に向けて早期に決断する時では。

答 中田町長

安全・安心の観点から多くの町民が早期の常備化を望んでおり、最重要課題として取り組みたい。

答 福田副町長

今、小松島市と事務的協議を進めており、27年度中には筋道をたてたい。

一向に進まない

交通弱者対策

「案してきたが、どうなったのか。」

問 今、高齢者が一番困っているのは、役場や病院、買い物などに行けないことである。

交通弱者対策として、いつでも利用できる「デマンドバス」を議会から再三提案してきたが、どうなったのか。

答 中田町長

交通弱者対策は、タクシー券や地域安全サポート事業で対応しているが、利用者は少ない。デマンドバスについては

地方創生事業のなかで議論したい。

問 町に「阿南方面へのバス運行」について陳情が出ているが、デマンドバスと組み合わせて運用してはどうか。

答 中田町長

提言を十分検討し、実現に向けて取り組みたい。

全国に発信

町制60周年事業

問 今年は、勝浦町制60周年に当る。全国に発信できる記念事業をしてはどうか。

答 伊丹参事

記念事業として、7月に式典と文楽公演、11月に町民体育祭、3月に「全国ひなサミット」を計画している。

その他の質問

- 防災基金の設置
- 星谷橋の架け替え

TPPや農協改革から

農業を守れ

基幹産業は守る（町長）

井出美智子議員



問 米価を暴落させ、TPPを前提に「農協改革」に力を入れている安倍内閣に、多くの町民は不安と憤りを感じている。

町の農業を守るためにも、町長は「情報開示をしないまま、米をはじめとする重要5品目を守り抜くという、国会決議を踏みにじるTPP合意は許されない」との発信をするべきではないか。

原料みかんの販売工夫を

答 中田町長
政府は、国会決議を念頭に入れて交渉していると思うが、町の基幹産業である農業は守りたい。

問 みかんのブランド化だけでなく、農家の収入を増やすため、健康に役立つ機能性を活かした原料みかんの販売はできないか。

答 福田副町長
県の工業技術センターなどを活用し、機能性を重視した取り組みを考えたい。

鳥獣被害対策

9割補助の取り組みを

問 徳島市や上勝町で行われている、9割補助の取り組みはできないのか。

答 野上産業交流課長
国の制度なので、個人ではなく集団で行わなければならない。

また、定期的な見回りも必要となるが、27年度から計画する。

危険なところに

防犯灯の新設を

問 防犯灯は「必要なところには設置する」と答弁があったが、「危険なところについていない」との声が多くある。新設はしたのか。

答 伊丹参事
坂本と生名は2カ所移設したが、新設はしていない。必要なところには設置していく。



「危険がいっぱい！」防犯灯のない町道

巡回タクシー

試験運行を

問 巡回タクシーの運行は、机上の検討だけではわからないことが多い。地方創生の交付金を活用して試験運行をしたらどうか。

答 伊丹参事
徳バスとの関係もあり、慎重に検討する。

国保税の引き値下げを

問 保健指導の充実の成果で、医療給付費が下がっている。もう一度、県下一安心国保税に引き値下げできるのではないか。

答 中田町長
安定した国保運営のためにも、現時点では引き値下げは考えていない。

県道徳島上那賀線

「長柱工区」の改良は

27年度に完了予定（建設課長）

川端雅夫議員



「対向でけん※」長柱工区

問 県道徳島上那賀線「長柱工区」の狭い部分と、飯谷小学校対岸の土砂崩れ箇所、改良の見通しは。

答 柳沢建設課長

「長柱工区」の青葉荘東側の狭い部分については、用地交渉が終わり、27年度に工事に着手、年度内には完了する予定と県から報告を受けている。

飯谷小学校対岸の土砂崩れの箇所は、設計が終わり、用地交渉の準備を進めている。

町税、住宅家賃の徴収体制は

問 町税や住宅家賃の滞納が多くあり、徴収には町長が先頭に出向く必要がある

が、どのような体制で臨んでいるのか。

答 前田税務課長

町税の徴収については、課員全員で対応しており、督促状や催告状の発行、電話や自宅訪問を繰り返し、徴収に努めている。

答 福田副町長

現在、住宅に入居中の方はほぼ全員が家賃を納付している。

26年度、町長は徴収に出向いていないが、必要時には自ら出向くと言っている。

ムを結成し、地方創生に反映させては。

答 中田町長

地方創生総合戦略の策定は、策定委員会の中で、幅広く意見を聞く。

そして10年、20年先を見据え、若い職員の意見や感覚を反映できる組織を作っていきたい。

若者定住対策

住宅新築に補助金を

問 以前の一般質問の答弁では「新築住宅には補助金は出せない」との見解であったが、他の町村では実施している。

なぜ勝浦町は実施できないのか。

答 伊丹参事

今回、地方創生の交付金が新設されたので、その中で転入を前提に、上限100万円の新築補助金を出す。

地方創生に

プロジェクトチームを

手職員でプロジェクトチー

問 今後、5年間は地方創生に取り組む期間で、勝浦町独自の事業で成果を上げなければ、町の未来はない。

「総合戦略策定委員会」の意見だけでなく、新しい企画をするために、従来の組織の枠を超えて、役場の若

でげとんでい

追跡レポート



パート5

各議員からの一般質問で、答弁しながら進んでいない事項を追跡していく。

どくじゃ行けん

進まない！交通弱者対策

25年12月会議

問 買い物や通院などに移動手段を持たない交通弱者対策として、デマンドバスを運行したらどうか。

答 経費面などを検討する必要がある。

現在はタクシー券や「地域安全サポート事業」を利用してもらいたい。

追跡

交通弱者対策は再三、

一般質問で取りあげているが、進展していない。

高齢化により、移動手段を持たない人は増え続けている。

タクシー券は制限があり、利用者は少ない。

みんなが利用できる事業を早急に取り組むべきである。

夜が危ない！

防犯灯の設置を

26年3月会議

問 夜間の安全強化のため、防犯灯の設置拡充が必要でないか。

答 危険な所には設置する。

追跡

「危険な所には設置する」と

の答弁であったが、要望した所には、まだ設置されていない。

移設を基本としていることに、問題があるのではないかと、新設を望む声が多く、安全対策としても必要である。

遅れすぎ

「道の駅」運営移行

24年6月会議

問 「道の駅ひなの里」の管理運営を、町営から民間に移行する予定だが、どうするのか。

追跡

26年度に、受け皿となる管理団体の調査費100万円を計上し、早い時期の移行をめざしたが、

まだ実行されていない。

27年度に公募する予定になったが、開駅当初の見通しからはずいぶん遅れている。

答 指定管理を含め、公募による早い時期の移行に努めるが、25年度は難しい。

議会広報に 53名の視察

26年に「町村議会広報全国コンクール」で奨励賞を受賞した勝浦町議会へ、「香川県広報発行町議会連絡協議会」から、1月27日に、53名が視察に訪れた。編集方法など活発な質疑が行われた。



美しい・町のボランティア

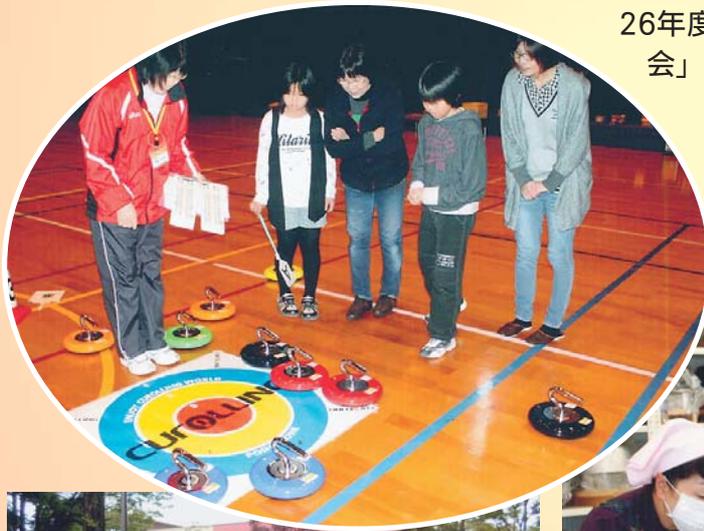
シリーズ⑧

勝浦町母子寡婦福祉会

町内の母子及び寡婦のしあわせを高めるために、同じような境遇のみんなで支えあいながら、研修会や事業を通じて、母子やひとり親家族、寡婦の明るい家庭づくりの向上をめざして活動している団体です。



会長 三好君代さん(中)
副会長 笠木久江さん
西浜富子さん



26年度は、勝浦町で2市1町の「中央ブロック研修会」を行い、50人が参加しました。

カローリング大会やビッグひな祭りの見学など、親子、会員間で楽しく交流を深めることができました。

毎年独居老人激励会の90人分の弁当作りを、福祉団体と協力しながら行っています。



[LINE] の開設 アカウント 徳島県母子寡婦福祉連合会 LINE @bosikai

ひとりで悩まないで 勝浦町社会福祉協議会 (☎42-4652)

表紙写真

鯉のぼりのように元気に

コスモス保育園



私たちの任期は7月9日まで。町民の審判を受ける町議会議員選挙が6月28日に予定されている。
(国清一治)

「万歳！」は、祝いや歡びごとに気持を込めて、威勢良く両手を挙げると広辞苑にある。
今年には統一地方選挙の年。選挙の効率化などを目的に昭和20年に始まり、70年の歴史を刻む。
町内では、桜が咲き始めた3月末から、桜が散り去った今月中旬までに、県知事選と県議会議員選挙が執行された。「勝敗は時の運」とも言われるが、選挙戦を必死に戦い、勝ち得た万歳！には心が躍る。

編集後記

